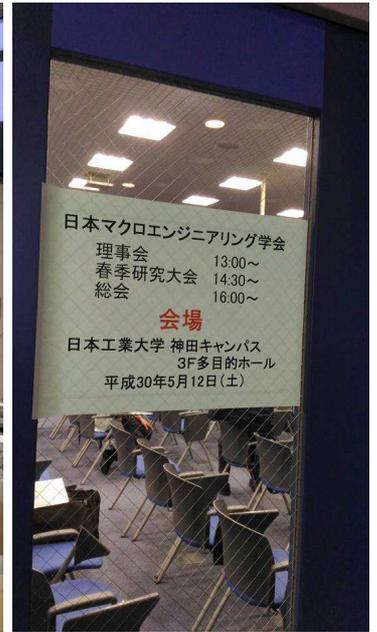


2018 春季研究大会報告

2018年5月12日(土)、日本工業大学神田キャンパス3F多目的ホールにおいて、日本マクロエンジニアリング学会総会に先立ち、第34回春季研究大会が開催され、多くの会員、一般の参加がございました。会場は日本工業大学様のご厚意により無償で使わせて頂きました。関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。



会場（↑日本工業大学神田キャンパス エントランスの看板 ↑ 3F 目的ホール）



会場風景（今年は委任状が多かったのですが、一般を含め 15 名の方に参加いただきました。）

発表1 「東日本大震災津波による水産加工業の復旧とバリューチェーン形成に関する考察ー岩手県北部を事例としてー」岩手県立大学 新田義修・植田眞弘

本研究は東日本大震災津波からの復興を促進させることを目的として、平成26年度より始められた地域政策研究センター（岩手県立大学）による「東日本大震災津波からの復興加速化プロジェクト研究」の一環として取り組んだ「岩手県沿岸地域における水産加工流通業等のバリューチェーン強化による復興促進効果の解明（課題名）」（研究代表:新田義修）の成果です。



発表1 「東日本大震災津波による水産加工業の復旧とバリューチェーン形成に関する考察」新田義修

競合地域、商品の知名度で必ずしも有利でなくとも、ニッチを目指し、きめ細かい戦略で、対象とするグループの売上は大震災直前（2010年）で約10億円であったが、2015年度には約30億円に増加し、3,500人の雇用を創出できました。

最大の要因はネット販売、アジア諸国への製品輸出を含む販路の拡大、コスト削減、原価計算、キャッシュフロー会計についての知識を学び、コスト・パフォーマンスの強化を図り、適正価格の設定に成功したことも収益増につながりました。

商品の価格が安くなる原因にロット不足と組織化にありましたが、ロットの確保には企業間連携によるノウハウの共有が有効であり、産地化の実現と工場の操業率の向上に向けて、企業間連携とシナジー効果を創出できました。

発表2 「日本マクロエンジニアリング学会を活性化するための提案」株式会社エティーサ研究所 山下将国

日本マクロエンジニアリング学会を活性化するため、

- ①エネルギー、海洋深層水など強みを踏まえ、
- ②SDGsなど社会目標（課題）に対し、
- ③独自の研究テーマを設定し、
- ④科研費、官公庁、JST、NEDOなどに
- ⑤アプライしましょう！

と、マイクロプラスチック問題を例に訴えられました。

新田会員、山下会員のご指摘や、先に実施しました「日本マクロエンジニアリング学会経営戦略のための方針に関するアンケート」結果を踏まえ、総会では、「日本マクロエンジニアリング学会活動方針」を決議させていただきました。学会運営に反映していきたいと考えます。

反省会では会場から徒歩3分、ふくの鳥さんで「大学も結構大変なんだ」を肴に鶏尽くしと獺祭（だっさい）を頂きました。

日本マクロエンジニアリング学会も大学も大変です！

2018/5/12 文責 事務局

経済性評価 平成23年岩手県産業連関表を用いた経済波及効果 (ケース：震災前10億円→震災後30億円,20億円増)

- * 第1次・第2次波及効果による生産額及び雇用誘発効果(人)が生まれる。
- 第1次生産誘発額(158.4億円)・直接効果 135.9億円・間接効果 22.5億円
- * 雇用誘発効果(誘発される就業者数 3,352人、誘発される雇用者数 890人)
- * 総効果：第一次波及効果(3,352人)＋第二次波及効果(166人)＝3,518人(1,027人)

	第一次波及効果			第二次波及効果	総効果
	直接効果	間接効果	計		
生産誘発額	13,591,965	2,253,652	15,845,616	2,064,681	17,910,297
(波及効果倍率) (※)	(0.6796)	(0.1127)	(0.7923)	(0.1032)	(0.8955)
うち粗付加価値誘発額	8,791,237	1,183,756	9,974,994	1,386,951	11,361,945
(波及効果倍率)	(0.4396)	(0.0592)	(0.4987)	(0.0693)	(0.5681)
うち雇用者所得誘発額	3,082,389	593,710	3,676,099	482,471	4,158,571
(波及効果倍率)	(0.1541)	(0.0297)	(0.1838)	(0.0241)	(0.2079)
就業者誘発量：人	-	-	3,352	166	3,518
うち雇用者誘発量：人	-	-	890	137	1,027

資料：岩手県庁 <http://www3.pref.iwate.jp/webdb/view/outside/s14Tokei/top.html> より作成。
注1：波及効果倍率は、各項目の金額が必要増加額(A)に対してどれだけの倍率かを表している。
注2：「平成23年岩手県産業連関表(36部門)による試算」



17

経済性評価 (平成23年岩手県産業連関表を用いた経済波及効果)



発表2 「日本マクロエンジニアリング学会を活性化するための提案」株式会社エティーサ研究所 山下将国



前菜(鳥サラミ・一夜干し・鳥皮ザーサイ・レバー・ふくの鳥ポテトサラダ)
於：反省会(獺祭 ふくの鳥 神保町店)